

水戸市議会報

令和7年

3月定例会

No.251

2025年5月1日号



令和7年度当初予算 2,133億円を可決

- 可決した議案……………3
- 代表質問……………4～6
- 一般質問……………6～11
- 常任委員会報告…………12, 13
- 令和7年度予算…………14, 15

アダストリアみとアリーナでの茨城ロボッツのホームゲームの様子。令和7年度に観客席等を改修し、Bリーグプレミア参入基準に対応するとともに、利用者の更なる利便性向上を図ります。(写真提供：茨城ロボッツ)

令和7年度を迎えて

議長

大津 亮一

副議長

高倉富士男



3月議会では、今年度の市政運営の基本となる当初予算等について慎重に審議し、議決しました。このような行政の監視機能に加え、議会活動の更なる充実や機能強化に向けた改革を進めているところです。

具体的には、議会の役割や責任等を規定し、議会の憲法とも言われる議会基本条例の制定に、議員一丸となって取り組んでいます。また、今年度は新たに、お子様連れの方でも安心して本会議を傍聴できる取組や、会議のインターネット中継の拡充を図っています。これらを着実に進めることで、市民の皆様の負託に応え、より多くの声を市政に反映できる議会を目指してまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

定例会あらまし



会期

3月3日から19日までの17日間

議員質問

- ・代表質問5名(4～6ページ参照)
- ・議案質疑1名
- ・一般質問19名(6～11ページ参照)

委員会付託議案

- (1) 各常任委員会における市長提出議案の審査
査の経過及び結果の報告
(12、13ページ参照)
- (2) 討論 反対1名、賛成1名
- (3) 採決 原案のとおり可決、承認

人事案件

- ・市長提出の人事案件6件を同意(3ページ参照)

議員提出議案

- ・議員提出の議案1件を可決(3ページ参照)

意見書

- ・議員提出の意見書2件を可決(3ページ参照)



本会議の様子

陳情

- (1) 令和7年陳情第2号をみなし不採択(3ページ参照)
- (2) 陳情の閉会中継続審査を決定

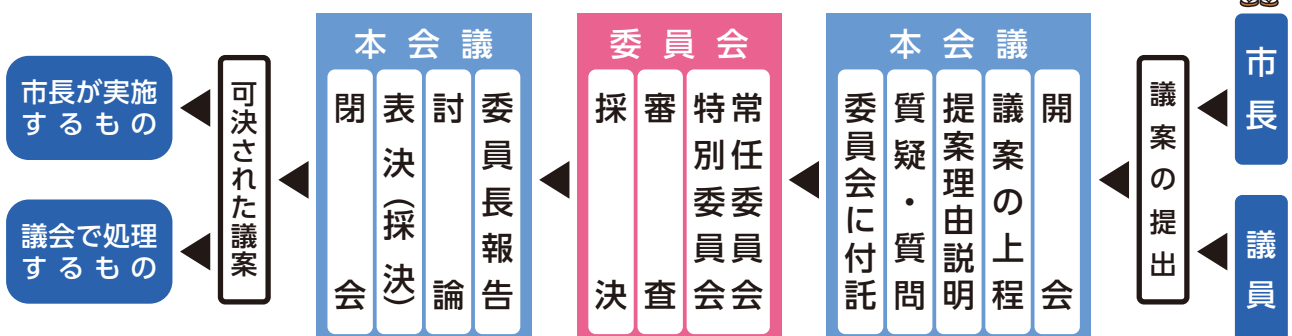
議員派遣

- ・先進都市の調査のため議員派遣を決定

閉会中所管事務調査

- ・各常任委員会等の閉会中所管事務調査を決定

議案審査の流れを紹介します



可決した議案



市長提出議案		計
令和7年度予算	12件	55件
令和6年度補正予算	9件	
条例の制定・改正	23件	
その他	11件	

今定例会で可決した主な議案

令和7年度予算(14、15ページ参照)

◆予算総額

213億3020万円

〔一般会計〕

127億6100万円

〔特別会計〕

540億9690万円

〔公営企業会計〕

316億7230万円

犯罪被害者等支援条例

法の趣旨を踏まえ、支援の基本理念、市並びに市民及び事業者の責務、市の基本的施策等を定めるため、条例を制定するもの

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

国の基準府令の制定に伴い、こども誰でも通園制度を実施する事業所の設備及び運営基準を定めるため、条例を制定するもの

公園墓地条例の一部改正

浜見台霊園において、合葬式墓地記名板の運用を開始することに伴い、使用料等を定めるため、関係規定の整備を行うもの

廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正

令和8年度から、ごみ処理手数料等を改定することに伴い、関係規定の整備を行うもの

医療福祉費支給に関する条例の一部改正

妊産婦に係る医療福祉費の所得制限を撤廃するため、関係規定の整備を行うもの

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

国の政令の改正に伴い、消防団員が35年以上勤務した場合の退職報償金区分を新設するため、関係規定の整備を行うもの

工事請負契約の締結

東町運動公園体育館メインアリーナ観客席等改修工事請負契約について、契約金額及び相手方を決定するもの

令和6年度一般会計補正予算(7号)

◆補正総額

28億8070万6000円増

主な内容

- ・防災・減災対策の強化に向けた防災倉庫の整備や備蓄資機材の拡充
- ・寿小学校及び妻里小学校の長寿命化改良事業の推進
- ・城東小学校屋内運動場の多機能トイレ等設置工事の実施
- ・ふるさと寄附金の寄附額の増に伴う返礼品等経費の増額

人事

水戸市教育委員会委員

三浦綾佳

人権擁護委員候補者

遠藤俊弘

上畠佳子

藤本貫大

金澤容子

川井洋子

議員提出議案

1件

市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

法改正に伴い、所要の改正を行うもの

可決した意見書



議員提出議案として、次の意見書を可決しました。

- 1 若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書
- 2 性犯罪の再犯防止の取組に対する支援の強化を求める意見書

陳情の結果



【みなし不採択】

- 令和7年陳情第2号 選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての陳情

本陳情については、「選択的夫婦別姓制度の法制化に向けた議論の促進を求める意見書」が否決されたことに伴い、不採択とみなす取り扱いとした。



誠和水政会

こいずみ 小泉二 康

農業振興に向けJA水戸との戦略的な包括連携協定の締結を

Q 農業は本市の基幹産業の柱であり、新鮮な農産物の安定供給という重要な役割を持ち、市民生活の根幹を支えている。現在、少子高齢化などを背景に農業の担い手不足が深刻化し、耕作放棄地の増大が予想される。また、主食用米の不足や価格高騰など課題が山積しており、一朝一夕に解決できるものではない。これらの課題解決を図る上で重要なパートナーとなるのが地域に根差したJA水戸であり、骨太な本市農政を展開していくためにも戦略的な包括連携協定の締結が必要と考える。見解を伺う。

A 本市農業を持続的に発展させる上で、議員提案は有効な方策の一つと考える。協定締結に向け積極的に協議を進め、本市とJA水戸が有する人的・物的資源やネットワークを活用することで、農業振興と地域コミュニティの活性化を推進し、持続可能な未来につなげる。

全小中学校の学びの質の向上と郷土教育の更なる充実・深化を

Q 急激に変化する時代の中で、求められる教育も変化している。対応

するには教職員の資質や環境の向上、市の関わりも重要と考える。

(1) 郷土教育の内容は学校によって異なり、学びの深さに差が生じることを危惧する。市が各校の取組状況や習熟度を把握し、全体の学びの質を向上させる必要がある。

A

(2) 子どもたちの郷土愛を育むには、本市の歴史を学ぶ機会の拡充が必要である。水戸教学の活用による郷土教育の充実・深化とあわせ、「日の丸」国旗制定に尽力した徳川斉昭公の魁となる偉業と水戸学の誇りを感じられる取組を提案する。

(1) 実態に応じて訪問時に指導・助言を行い、好事例の周知を図る。

(2) 水戸教学の内容を問題解決学習の時間に位置付けている例があり、研修会等を通じて各校で共有する。



斉昭公が江戸幕府に進言した「日の丸」国旗

その他の質問

- 新年度予算の編成方針と重点施策、巨額事業は
- 移住・定住促進策の実績と広域連携による取組は
- 企業誘致推進に向け用地確保のための規制緩和を
- 県立病院統合の現況・見通しと積極的な市内誘致は
- 部活動地域移行に向けた課題の検証と今後の方針は

魁、水戸

はかまつか 袴塚孝雄

校内フリースクールの成果と小学校への拡充は

Q 不登校児童生徒数は増加傾向であり、登校できない子どもたちへの自立支援は重要な課題である。誰もが学べる環境づくりとして、令和6年度から全市立中学校に校内フリースクールを開設した。(1)その成果を伺う。(2)小学校への拡充も必要ではないか。見解を伺う。

A

(1) 授業や学校行事に参加できるようになった事例が見受けられる。また、不登校傾向にある生徒の未然防止の役割も果たしている。(2) 5年度の不登校児童生徒数は、小学校で305人、中学校で471人となり、国や県と比較し、不登校率が高い割合にある。そこで、7年度は学校規模や各学校の実情等を踏まえ、小学校6校に校内フリースクールを開設する。また、必要とする全ての小学校へ段階的に校内フリースクールを拡充する。

千波湖の水質浄化策として

自然流水の活用を

Q (1) 千波湖の水質浄化やアオコの抑制を目的に、霞ヶ浦導水事業を活用し、那珂川から導水を行っている。本事業の効果伺う。(2) 千波

湖近隣には逆川緑地や見川調節池周辺等の豊富な湧水がある。これらの自然流水を活用すれば、費用負担を抑えて水質改善が可能と考える。見解を伺う。

A

(1) 令和4年度から試験通水を開始し、水質指標の目標値の達成やアオコの減少など、水質改善が見られた。6年度は通水できない期間があったが、アオコの大量発生には至らず、導水は水質改善に大きな効果があると認識している。水量や時間帯など複数の通水パターンの効果を確認するとともに、費用対効果も検証しながら、より効率的な導水に取り組む。(2) 議員提案の湧水などの自然流水を活用した水質浄化については、有識者の助言を得ながら検討を進める。



千波湖

その他の質問

- 水戸スタイルの教育の目指す方向性は
- 自ら考え行動する子どもたちの育成を
- 県庁周辺の土地利用の考え方は
- 高齢者が自立し安心して暮らせるまち水戸の実現を
- 高齢者に向けたフレイル対策の取組は



公明党水戸市議会

黒木 勇
くろき いさむ

災害時の福祉支援と

関連死を防ぐ体制の構築を

Q 政府は2月に被災者支援の充実を柱とする災害対策基本法等の改正案を国会に提出した。この法改正により、介護福祉士や社会福祉士などで構成される災害派遣福祉チーム(DWAT)^{※1}の活動範囲が広がることになり、これまでの避難所での活動のほか、在宅避難者や車中泊の避難者等にも必要なケアが届くようになる。令和6年能登半島地震では、避難生活の疲労等による関連死が直接死を上回っており、災害時の福祉支援と災害関連死を防ぐ体制の構築が重要と考える。見解を伺う。

A 法改正は被災者支援の強化につながる。今後とも国の法改正の動向を注視するとともに、DWA^{※2}等の派遣を行う県との連携を図りながら、避難所の内外を問わず避難者の支援体制を充実させ、災害関連死の抑制に取り組む。

障がいのある人もない人も

共に生きる社会の構築を

Q 令和6年4月に施行された改正障害者差別解消法により、事業者による合理的配慮の提供が義務化さ

れた。障がいを理由とする差別解消のため、ハード・ソフト両面からの環境整備や合理的配慮の提供が必要と考える。互いに認め合い、助け合い、支え合う共生社会の構築について、見解を伺う。

A 第7次総合計画に心のバリアフリーのまちづくり等を位置付け、取組を推進している。ハード面では施設や道路等のバリアフリー化を進め、ソフト面では学校教育や講演会、市職員研修等を行っている。また、専門部会を設置し、効果的な施策の実行に向けた検討を進めている。障害者計画(第4次)では、障害を理由とする差別解消の推進や、行政機関での配慮及び障害者理解の推進等を改めて位置付けた。引き続き取組を力強く推進する。



市民向け「こころのバリアフリー啓発講座」

その他の質問

- 大規模災害時の避難所環境改善への取組は
- 防災士の地域防災活動への参加促進を
- デジタル地域通達の導入に向けた見解は
- 市役所におけるハラスメント対策は
- 子どもの可能性を開く教育の推進方針は

立憲みと

萩合 慎一
はぎあつ けんいち

FEC自給圏など

広域圏の将来ビジョンを

Q (1)広域合併の必要性が議論されているが、将来ビジョンの共有が重要と考える。市長がイニシアチブを発揮するべきでは。(2)食・エネルギー・ケアの地産地消を目指すFEC自給圏構想は、圏域の持続可能な発展や一体感の醸成につながると思う。見解を伺う。

A (1)相手方の意向を尊重し、信頼関係を築きながら段階的に合意形成を図り、慎重に進めていくべきと考える。広域的なまちづくりへの住民意識の醸成に努め、合併に前向きな考えを持つに至った近隣市町村に対して、積極的に勉強会などを働きかける。(2)これまで県央地域首长懇話会で進めてきたアップローチと方向性が共通する部分が多いと考える。一方、圏域にとどまらない移住・定住の促進や交流人口の促進も重要である。今後、協議の場でも取り上げていく。

徳川光圀公生誕400年に

合わせた戦略を

Q 令和10年は徳川光圀公生誕400年の記念すべき年である。(1)小中学生や市民への郷土教育にどう生

かすのか。(2)光圀公ゆかりの歴史遺産の環境整備やシティプロモーションにどう取り組むか。(3)官民協働の検討委員会を設置し、具体的な戦略や取組を検討すべきでは。

A (1)子どもから大人まで、多くの市民が光圀公の生涯やその時代について知識を深める機会をつくり、郷土を愛する心やシビックプライドを育む絶好の機会としていく。(2)光圀公にスポットライトを当てた各種観光施策を展開し、戦略的なシティプロモーションに取り組むことで、本市のイメージアップと観光誘客につなげる。(3)令和10年度の施策の実施に向け、市民をはじめ多くの方々に興味関心を高めてもらえるよう、その手法や事業内容も含めて検討を進める。



徳川光圀公像

その他の質問

- 令和7年度予算案と財政健全化の状況は
- 日本遺産が条件付き継続認定となった経緯は
- 官民連携による戦略的な歴史まちづくりを
- 逆川・桜川水系からの導水で千波湖の浄化を
- 平和の笠原水道による備前堀の通年通水を



日本共産党水戸市議団

つちだ
土田
記代美

茨城県からの無駄な受水の 一日も早い中止を

Q 平成10年から続く県中央広域水道からの受水は水資源の豊富な本市にとって不要な支出であり、我々は毎年、受水中止を求めてきた。これまでの県受水への支出総額は約48億円にのぼり、懸命に水道料金を納める市民への背信行為である。これまで市は、災害時における複数水源の確保を受水の理由に挙げていたが、東日本大震災の際に活用できなかった経緯があり、そもそも本市は人口より9万人分多い給水能力を有している。歴史ある水道事業を堅持していくために県との協定は速やかに解消し、受水を一日も早く中止すべきだ。

A 6年度から、より快適な環境を提供するという観点で、青柳公園、小吹運動公園、下入野健康増進センター内の屋内プールを開放し、延べ9057人に利用いただいた。好評であるため、市民ニーズを的確に捉えながら継続して実施する。

夏休み期間の 学校プール開放事業の復活を

Q 本市に屋外市民プールがなくなつて以来、代替策として本事業が始まり、これまで多くの市民が利用

A 取組の結果、災害時等の応急給水に必要な水量を確保できた。また、減損会計※2の適用により既存の協議会の構成市町村等の負担増加もなくなった。課題が解消されたため、令和6年度末で契約解除する。



学校プール(新荘小学校)

その他の質問

- 東海第一原発の再稼働に反対し廃炉を求める表明を
- 火災連発の日本原電の安全管理に厳しい追及を
- 再開発事業やマンション建設への税金支出中止を
- 問題点だらけの市民会館の改善策と市長の責任は
- みと文化交流プラザは拙速な解体をせずに存続を

▼一般質問

リチウムイオン電池の処分に係る 丁寧な周知と回収方法の拡充を

もり
森
まさとし
正慶

Q 近年、全国の清掃工場等においてリチウムイオン電池に起因する火災が多発している。本市の対応を伺う。また、搭載製品が大型の場合、高齢者にとって清掃工場等への搬入は難しく、対策が必要である。分かりやすい分別・処分方法等の周知徹底に加え、市民センター等の小型家電の回収方法を活用した処分についても検討すべきと考える。見解を伺う。

A 清掃工場で迅速な初期消火対応ができる対策を講じるとともに、作業員への教育活動等を実施している。処分方法のPRについては、写真や動画など効果的な手法を活用しながら、より分かりやすく丁寧な情報発信に努める。また、市民センター等での拠点回収の品目を拡充について、関係部署との検討を進め、市民の利便性向上を図る。



清掃工場「えこみっと」

その他の質問

- がん予防促進のためヘルスリテラシーの向上を
- 子どもの人権擁護に関する制度の活用と周知を
- 戦後80年の節目に小中学生への平和教育の充実を

赤塚中学校、見川小中学校の 通学路安全対策は

なかにも
中庭
みづほ
由美子

Q (1) 赤塚中学校脇の県道玉里水戸線は、狭あい道路であり、バスと普通自動車との対面通行が難しく、歩行者や自転車の通行も危険である。道路拡幅の地域要望が長年出ており、周辺では赤塚駅西線アンダーパスが完成し、宅地造成が進んでいるため、早急に拡幅整備を進めるべきである。(2) 見川小中学校の通学路にも狭あい道路があり、一部の横断歩道では車両が停止せず危険である。早急な交通安全対策が必要である。見解を伺う。

A (1) これまでも県に早期の拡幅整備を要望してきた。事業中の他県道の整備進捗を見極める必要があると聞いており、早期着手されるよう、引き続き県に強く要望する。(2) 地域や学校の要望を確認しながら、通学路交通安全プログラムに基づく安全対策に努める。



県道玉里水戸線

その他の質問

- 福祉タクシー助成制度の枚数制限の撤廃を
- 带状疱疹ワクチン接種は50歳からに拡充を
- 後期高齢者の人間ドック対象人数の拡大を

※2 減損会計…固定資産により今後生み出される収益が資産価値を下回るときに、損失を将来に繰り延べないために資産価値を減少させる会計処理のこと。



一般質問(3月11日)



燃えるごみ収集袋

その他の質問

- 八潮市道路陥没事故を受けた下水管の老朽化対策は
- 大工町の道路陥没の復旧状況は
- オーガニック給食の段階的導入への見解は



その他の質問

- 学校給食の残食を減らす取組と利活用の推進を
- 県立中央病院と県立こども病院の統合について
- ・移転候補である戸川周辺の今後の整備予定は



その他の質問

- 誰もが安心して搾乳できる環境づくりを
- ナッジ手法を活用して市民の健康増進を
- 国田地区の今後のまちづくりの方向性は



地域医療(イメージ)

その他の質問

- 日本遺産再認定によるインバウンドを含む誘客を
- 小中学生への水戸の歴史教育の取組は
- 県で導入した選定療養費制度による影響は

ごみ袋の値上げに伴う
市民周知と暮らしの支援策は

森智世子

Q 今定例会でごみ袋の値上げが提案され、令和8年度に45L袋が30円から45円に引き上げられる。受益者負担の必要性は理解できるが、市民からは値上げの理由を丁寧に説明してほしい、ごみ削減の方法が分からない等の声が上がっている。そこで、(1)これまでの分別やごみの減量化の推進による成果と課題、(2)市民に対する周知方法、(3)ごみ減量の強化策を伺う。

A (1)家庭ごみは新分別開始前の令和元年度と5年度を比較して約13%削減した。一方で分別・排出方法の誤り等の課題があり、啓発に努める。(2)広報やSNS等で情報発信するとともに、要望に応じて説明会を行い、手数料改定の必要性を丁寧に説明する。(3)生ごみ処理機器の購入補助や未利用食品の有効活用等について啓発を継続する。

有害鳥獣の捕獲体制強化のため
「鳥獣被害対策実施隊」の設置を

谷智宏

Q 昨年はイノシシの頭数が増えたと聞いており、猟友会の役割はますます重要になっている。本市においてはは猟友会の協力の下、有害鳥獣捕獲隊を編成していただき、捕獲活動を実施している。捕獲体制の更なる強化のため、隊員が安心して捕獲活動に従事できるよう、公務災害の適用など、優遇措置を講じられる鳥獣被害対策実施隊を市で設置してはどうか。

A 捕獲隊における高齢化や人材確保が課題となっていることから、持続可能な体制の構築に向け、有害鳥獣捕獲事業費の拡充予算について、今定例会に提案した。議員提案については有効な取組と認識しており、隊の編成方法や業務の範囲等について、先進事例を調査しながら、捕獲隊や関係機関との協議を進める。

女性が輝ける水戸市にするための
今後の施策の展開は

田尻由紀子

Q これからは、地方の女性が抱える生きづらさにも目を向け、全ての人の多様な生き方が尊重される地域社会づくりが必要不可欠である。多様な生き方をしている女性一人一人に光を当てながら、自分らしく輝けるような、ニーズに寄り添ったきめ細かな支援を行うべきと考える。女性が輝けるまちにするための今後の取組を伺う。

A 女性が生きづらさを感じる要因の一つに、家庭や職場、地域などで、未だに固定的性別役割分担意識があることが考えられる。意識の払拭に向け、固定観念に縛られないロールモデルの提供として、各種講座の開催や、市HP等での紹介を行う。地域やまちづくりの場において、方針決定等への女性の参画推進について、引き続き取り組む。

市民が安心して医療を受けられる
よう医療再編と医療施設強化を

渡辺 欽也

Q 県立中央病院と県立こども病院の統合は、高度急性期医療のほか、がんや小児、周産期の専門医療を提供し、県央・県北地域の医療体制を充実させることを目的としている。市では、医療従事者不足による地域医療の負担増加が懸念されており、市民が医療難民とならぬよう、医療資源の集約と効率的な運営体制確立が必要である。また、医療従事者の働きやすい環境の整備や医療機器等の充実を進め、医療環境を整備することが重要と考える。市の取組と展望を伺う。

A 医療体制の再編、医療施設の機能強化を進め、医療資源の集約化や機能分化を図ることが重要である。県や周辺市町村、公的病院等や医師会等関係団体との協議をさらに深め、持続的・安定的な医療提供体制の維持・確保を図る。



ふるさと納税制度を活用した
動物愛護に関する寄附の受付を

滑川
友理

Q 現在、市動物愛護センターにおいて動物愛護推進寄附金を募っており、年間約250万円の寄附を頂いている。寄附者の目線で考えると、インターネット上のふるさと納税ポータルサイトを活用した方が、手続きの負担が少なく、また、本市にとっても全国から寄附を受けやすくなり、寄附額の増加も期待できる。見解を伺う。

A 議員提案については、サイト上でクレジットカード決済により寄附を行うことができ、寄附機会の拡大につながると思う。本市の施策を全国に発信し、共感いただける有効な手段の一つであることから、更なる寄附を呼び込めるものと認識しており、検討を進める。今後本市の施策に賛同いただける方に対する寄附機会の拡大に努める。

自治会・町内会への防犯カメラの
設置補助制度の創設を

木子
鈴の宣

Q 防犯カメラには、犯罪の抑止効果があり、安全で安心なまちづくりの実現に大きな役割を果たしている。市内では、空き巣被害が発生したことに伴い、町内会が防犯カメラの設置費用を全額負担したという事例がある。県内には、自治会・町内会が設置した防犯カメラの費用の一部を補助金として交付している自治体もある。犯罪から市民を守る施策として、本市でも防犯カメラの設置補助制度を創設すべきである。見解を伺う。

A 防犯カメラを設置することで、市民の安心感の醸成等にはつながるものの、市内全地区の公平公正な取組として有効であるか、また、記録された画像を適正に管理する方法を確保できるか等の課題もある。そのため、他市の先進事例等を参考にしながら慎重に検討する。

会計年度任用職員の格差是正と
3年目公募を撤廃し継続雇用を

田中
真己

Q (1)会計年度任用職員は市職員の約35%を占め、市に欠かせない存在だが、原則1年以下の任期で働き方が不安定である。男性職員給与に対する女性職員給与の割合が65%と、格差がある原因は、会計年度任用職員に女性が多いためであり、待遇を抜本的に改善すべきである。(2)会計年度任用職員は3年ごとに公募してきたが、令和6年から国が公募を撤廃し継続雇用を可能にした。行政サービスを支える有為な人材を安定的に確保するため、市も3年目公募をやめて継続雇用すべきであるがどうか。

A (1)会計年度任用職員に占める女性の割合が約8割と高く、相対的に女性職員の給与が低くなっている。(2)3年ごとの公募選考継続を基本に、専門性を有する職種等は他自治体の対応を調査研究し検討する。

水戸の焼き物「七面焼」の
観光振興への活用状況は

マーサ
川又

Q 今から187年前、徳川齊昭公が水戸藩の財政再建のみならず、領民の利益創出のために生産を推奨した焼き物が七面焼であり、代表的な工芸品になった。特に優れた品は、明治時代以降にボストン美術館に展示されるなど、美術的価値も高かった。七面会では、当時の製法を踏襲しながら、伝説の七面焼の復興・普及活動に取り組んでおり、その製品は優良観光土産品に登録されている。産業の少ない本市の観光振興に大変寄与するものと考えており、現在の活用状況と今後の対応について伺う。

A 認知度向上や販売促進を図るため、体験パンフレットへの掲載や産業祭等での販売ブースの出展などに取り組んできた。今後も関係者と密に連携し、七面焼の魅力を水戸藩の歴史とあわせて広く発信する。



その他の質問

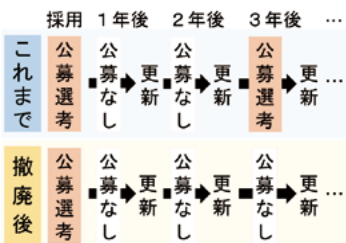
- 森林公園の改修と来園者増加に向けた取組を
- 小学校におけるフッ化物洗口の実施について
- ・教職員の負担増加にならない対応策を



防犯カメラ

その他の質問

- 防災機能を有した公園の整備を
- 防犯灯の設置補助と今後の見通しは



国の会計年度任用職員の3年目公募イメージ

その他の質問

- 酒門六差路の四差路化による周辺交通への影響は
- 老朽化が進む下水道管への早急な対策を
- スクールカウンセラーやソーシャルワーカーの拡充を



七面焼の農人形

その他の質問

- 市内総生産額の低迷の要因と産業誘致等の対策は
- 徳川光圀公と縁の深い桜を通年観光に生かしては
- ごみ処理手数料の値上げを機にサービスの向上を



一般質問(3月11日, 12日)

上大野地区の県道馬渡水戸線の
勝田橋の早期架け替えを

みじさき
澤彦
藤康



勝田橋

その他の質問

- 養護老人ホームの措置状況と措置費改定は
- 2040年問題に向けた介護・看護人材の確保を
- ヤングケアラーの調査と早期発見・早期支援を

Q 県道馬渡水戸線の勝田橋は、昭和35年に着工され、老朽化が進んでいる。また、幅員が狭いため通勤時の渋滞の一因となっている。那珂川緊急治水対策プロジェクトにより吉沼築堤が進められており、勝田橋についても早期の架け替えが必要と考える。見解を伺う。

A 勝田橋は、国が策定した那珂川水系河川整備計画において、既存堤防よりも橋梁が低く、那珂川の安全な流下の阻害となる橋梁とされており、市としては、架け替えが必要であることを認識している。地元自治会の「住みよい上大野をつくる会」から、「那珂川に架かる県道馬渡水戸線の勝田橋の早期架け替えに関する要望書」が市に提出された。市内部で情報を共有した後、県知事宛てに地元の切実な声を上申した。

ICT教育の推進で
学力低下も？

いけだ
池田
悠紀



ICTを活用した学習

その他の質問

- 地域おこし協力隊の多分野での積極的活用を
- 救急隊員の早急な負担軽減対策を
- パートナーシップ宣誓者への結婚新生活支援金を

Q 本市では小中学生へのタブレット端末が整備されており、令和7年度は中学校に指導用デジタル教科書が導入される。ICT活用には利点がある一方で、視力1・0未満の子どもの割合が過去最大となり、OECD^{※3}の調査ではICTの過度な使用が学力低下を招くと報告されている。東北大学の研究では、ほぼ毎日インターネットを使用する子どもは、脳の発達がほとんど見られないことが判明した。現代の子どもの5人に1人がネット依存症との報告もある。こうした事実や保護者の不安を踏まえ、子どもたちの健康を守る積極的な対応が必要と考える。見解を伺う。

A 安全面に留意し、デジタルとアナログの良さをバランスよく組み合わせ、子どもたちに必要な資質・能力の育成に努める。

市内小中学校における
英語教育の取組は

うちこし
打越
美和子



柳河小学校ウェルカムボード

その他の質問

- 防災対策における備蓄物資の充実を
- 災害時生活協力隊員提供を支援する取組は
- 森林公園の誘客施設としての再整備とPRの推進を

Q (1)柳河小学校は、令和6年4月から小規模特認校として英語教育に特化した学びを行っている。英語指導の状況やAETの先生との学びの成果、また、成果を踏まえた市内小中学校への英語教育の質の向上に向けた今後の取組を伺う。

A (1)英語専科教員とAETが常駐し、児童一人一人と英語で対話するなど質の高い指導を実践している。英語に対する積極的な姿勢が養われており、今後は実践の成果を各学校で共有し、市内小中学生の英語力向上に努める。(2)受験料が安くなる準会場を市独自で設置し、負担軽減を図るとともに、英語学習会を開催し学習支援に取り組む。

粗大ごみの出し方の
DX化を

ごとう
後藤
通子



粗大ごみ処理券

その他の質疑、質問

- ごみ処理手数料等の改定額の算定根拠は
- 申請等におけるキャッシュレス決済の導入状況は
- 带状疱疹予防ワクチンに関する丁寧な周知を

Q 昨今、働く世代や若者からキャッシュレス決済が好まれている。粗大ごみの戸別収集に関しては、電話予約と専用シールの購入が必要であり、手間がかかる。他自治体では、LINEでの予約システムや、事前にキャッシュレス決済で支払いできるシステムが導入されており、本市でもデジタル化の取組の導入を提案する。

A 粗大ごみの戸別収集に係る申し込みや受付のデジタル化の推進は、利用者の利便性向上につながり、業務の効率化も期待できることから、インターネットを活用した申込システムの構築を進めている。また、キャッシュレス化については、事業者の支払い状況の確認等に係る事務手続に課題があるため、先進事例を調査研究しながら、導入について検討を行う。

※3 OECD…経済協力開発機構。ヨーロッパ諸国を中心に日本を含め38か国の先進国が加盟する国際機関



市民ファーストの考えに基づく
税金の使い方とサービス提供を

田中 須田 浩和

「令和の米騒動」
米価高騰への対策は

安藏 栄

脱炭素社会の実現のため
住宅リフォーム支援の拡充を

佐藤 昭雄

「企業誘致・創業支援室」の
役割と今後の誘致施策は

鬼澤 真寿

Q 本市の税金は市民を最優先に考え使われるべきである。(1)年末年始の市休日夜間緊急診療所に市内外から利用者が殺到し、7時間も待ったという市民の声を聞いた。施設整備や医師確保に多額の予算をかけている本市診療所において、市民の利便性が損なわれていることに理不尽さを感じており、是正を求める。(2)本市の公共施設は、市民が優先して使えるべきであり、そうすることで周辺自治体の住民に広域合併のメリットを感じていただけると考える。見解を伺う。

A (1)医療人材の確保及び運営経費に係る利用地域からの応分の負担について改めて検討する時期にあり、関係団体と協議を進める。(2)施設の広域利用は県央地域の一体感の創出につながるものであり、今後周辺自治体との連携を推進する。

Q 米価高騰への対策として、主食用米を増産すべきである。農業再生協議会を運営する市の課題認識と今後の取組を伺う。また、米の需要が減少する中、米粉の消費拡大に向けた取組についても伺う。

A 米価高騰による消費者の米離れが懸念される。生産者や関係団体で構成する市農業再生協議会で、国の需要見通しに応じた生産目標を示し、生産を進めてきた。今般、米価の見通し等について地域農業者等から厳しい意見をいただいており、市として国・県にその声を伝えるとともに、水田農業政策に係る正確な情報を農家に提供し、安定的に水田農業を営めるよう取組を進める。米粉については、飲食店や関係機関と連携して利用拡大に取り組み、米の消費拡大と水田農業の活性化に努める。

Q 市はゼロカーボンシティの宣言や地球温暖化対策実行計画等を策定し、地球温暖化対策に取り組んでいる。安心住宅リフォーム支援事業は、住宅のリフォーム工事費用に上限10万円を補助する取組である。エネルギー費用負担の軽減や脱炭素社会の実現に向け、本事業の予算や補助額等の拡充が必要と考える。見解を伺う。

A 令和5年度は利用希望者213件に対し、204件、約2千万円を補助した。6年度は利用希望者227件に対し、207件、約2千万円の見込みである。広報を強化することで利用拡大を図り、住宅の省エネ化を促進する。予算額の拡充や上限額の引き上げは、現行事業の効果を検証するとともに、今後の申請状況や他市町村の動向を注視しながら検討する。

Q 企業誘致は、多様な働く場の創出や地域経済の持続的な発展を促す施策として有効であることから、これまで議会で何度も専門部署の設置を訴えてきた。その結果、令和6年度には担当参事の配置、この4月からは「企業誘致・創業支援室」の開設と大きく前進した。そこで、支援室の役割と今後の施策の展開等について伺う。

A 産業系エリア指定要件を踏まえた誘致候補地を選定し、担当参事を中心に、土地利用や社会資本の整備状況等の整理、土地所有者等の意向確認を進めている。7年度に新設する支援室では、多様な働く場の創出に向けた体制強化を図る。今後は、新たな産業系エリア指定区域の指定を視野に入れた取組を継続し、立地規模や優遇制度に係る企業ニーズ調査を実施する。



水戸市休日夜間緊急診療所

その他の質問

- 市民会館の運営改善について
- ・誰もが理解できる平等な使用ルールの設定を
- ・問題が多い管理運営に対する市の認識と改善策は



米の収穫の様子

その他の質問

- ふるさと納税の実質収支は
- ふるさと納税の寄附拡大の取組は
- 下水汚泥からのリン回収は



国が発行する住宅リフォーム補助のチラシ

その他の質問

- ふるさと納税を用いたクラウドファンディング導入を
- 市債残高の現状と借入利率の上昇による影響は
- 高齢者が孤立しないよう包括的な支援を



市の産業系拠点、水戸西流通センター

その他の質問

- 関係人口を増やすデジタル住民票の導入を
- ふるさと寄附金で稼ぐ力の強化を
- 飯富小学校、中学校の今後の整備計画は



常照寺池

その他の質問

- 百樹園西交差点と元吉田東交差点の信号機設置について
- 市内幼稚園におけるAET設置状況について
- 英検を受験する児童生徒への助成について

- A** 新川上流南西区域については、新たに常照寺池の「貯める」対策を含めた整備計画を雨水排水施設整備プログラムに位置付け、基本設計に係る経費を新年度予算に計上した。「流す」対策とあわせ、常照寺池からの溢水防止や池の拡張など雨水調整池としての機能強化に取り組む、雨水貯留量を最大限活用できるよう、池に堆積する土砂の浚渫を継続的に進める。地元の理解・協力を得ながら、引き続き雨水排水対策に全力で取り組む。
- Q** 新川上流域では近年の集中豪雨による被害が頻発しており、多くの住民から浸水対策への要望がある。今定例会の市長所信表明で、雨水管理総合計画の策定とともに、「流す」対策と「貯める」対策をあわせて実施すると伺った。今後の具体的な対策について伺う。

新川上流域における
浸水対策の見直しは



常任委員会の視察報告

各常任委員会では、市政の課題解決に生かすため先進都市の事例を調査研究しました。視察項目は下記のとおりです。

総務環境委員会 令和6年10月16日～18日

<香川県高松市>

- ・スマートシティたかまつの取組について
- ・地域公共交通ネットワークの強化・推進の取組について

<岡山県岡山市>

- ・岡山芸術創造劇場ハレノワについて

など



ハレノワの大劇場

産業消防委員会 令和6年10月16日～18日

<山形県山形市>

- ・農業DXの推進について

<宮城県仙台市>

- ・消防団への加入促進策について
- ・中央卸売市場の再整備について

など



仙台市中央卸売市場

文教福祉委員会 令和6年10月29日～31日

<大阪府八尾市>

- ・誰ひとり取り残さない！八尾市版重層的支援体制整備事業について

<岐阜県岐阜市>

- ・クアオルト健康ウォーキングについて
- ・柳ヶ瀬健康運動施設ウゴクテについて

など



ウゴクテの受付

建設企業委員会 令和6年7月16日～18日

<北海道札幌市>

- ・IT技術を活用した路面状況の把握について
- ・下水道事業における地球温暖化対策について

<北海道函館市>

- ・函館市における景観形成の取組について

など



函館の伝統的建造物

議会情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

情報公開制度は、議会で保有している情報を市民の皆さんに公開する制度です。

また、個人情報保護制度は、議会で保有している個人情報の取扱方法を定めるとともに、対象者自身の個人情報の開示や訂正、利用停止を請求する権利を保障する制度です。

○議会情報公開制度に関する請求及び決定の件数(令和6年度)

開示請求 件数	決定の区分				審査請求
	全部開示	部分開示	不開示		
			うち条例第7条該当		
21	19	1	1	—	—

○議会個人情報保護制度に関する請求の件数(令和6年度)

開示請求、訂正請求、利用停止請求の状況・・・なし

文教福祉委員会



令和7年度一般会計当初予算 (文教福祉委員会所管分)

主な質疑

いきいき交流センター柳堤荘長寿命化改修事業の概要、医療的ケア児保育支援事業の利用見込み、子育て支援・多世代交流センターにおける室内遊具の整備、医療機関開設等補助事業の対象、^{ほう}帯状疱疹予防接種事業の実施スケジュール、初回産科受診料支援事業の対象者への周知、校内フリースクールの拡充対象校と専任の支援員の配置予定、教育用タブレット端末の更新計画、小中学校の屋内運動場空調設備整備のスケジュール、水戸城土塁(法面)整備事業の進め方、くれふしの里古墳公園に整備予定の大型複合遊具、小学校給食費無償化に伴う影響など

主な意見

- (1)いきいき交流センター柳堤荘の長寿命化改修に当たっては、利用者の視点に立った施設のバリアフリー化に取り組まれない。
- (2)帯状疱疹予防接種事業については、市民への丁寧で分かりやすい周知に努められたい。
- (3)校内フリースクールの小学校への拡充に当たっては、中学校における取組状況を十分に踏まえた上で実施されたい。
- (4)くれふしの里古墳公園への大型複合遊具等の整備については、適切な進捗管理に努めるとともに、適宜、委員会に報告されたい。

賛成多数



くれふしの里古墳公園

総務環境委員会



令和7年度一般会計当初予算 (総務環境委員会所管分)

主な質疑

シェアサイクル事業「みとちゃり」のステーション設置の考え方、自転車通行空間として整備する路線、自治体情報システムの標準化の実施スケジュール、備蓄物資の配置状況、AⅠ防犯カメラの設置予定箇所及び運用方法、水戸黄門ふるさと寄附金の返礼品開発等支援事業の内容、堀斎場長寿命化改修事業及び旧清掃工場跡地整備事業の実施内容、集団資源ごみ回収の状況、第10回水戸黄門漫遊マラソンの事業内容、ケーズデンキスタジアム水戸のトラック改修工事の内容、結婚新生活支援事業補助金の概要、駐車場事業会計繰入金の減額及び市預金利子の増額理由など

主な意見

- (1)AⅠ防犯カメラの設置を契機に県警察等の関係機関とより一層連携を強化し、誰もが安心して繁華街に訪れることができる環境整備に努められたい。
- (2)旧清掃工場跡地整備事業は、地元団体等との十分な協議を進めながら事業推進に努められたい。
- (3)屋内運動場などの体育施設の改修については、市民の利便性に配慮し、早期完了に努められたい。
- (4)水戸黄門漫遊マラソンは、第10回記念事業としての盛り上がりを一過性のイベントとすることなく、更なるにぎわいの創出につながるよう取り組まれたい。

賛成多数



水戸黄門漫遊マラソン(第9回大会)

建設企業委員会



建築基準条例の一部改正

主な質疑

県内他自治体との協議状況, 要件緩和による効果, 火災時の安全性の担保など

主な意見

既存建築物の省エネ改修や有効活用の促進に向け, 制度改正の内容を広く周知するとともに, 適正な運用に努められたい。

賛成多数

令和7年度一般会計当初予算 (建設企業委員会所管分)

主な質疑

狭あい道路整備事業の計画, 交通安全施設の設置要望及び整備状況, 道路景観保全工事の整備内容, まちなか案内板 R e デザイン事業における案内板の設置区間・設置数・視認性を高める工夫, 優良建築物等整備事業及び水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業における総事業費・支援額・事業内容, 都市計画道路整備事業の進捗及び延伸計画, 新川排水区等における雨水排水対策, 公園でのボール遊びの規制状況及び防球ネット設置工事の内容など

賛成多数

産業消防委員会



令和7年度一般会計当初予算 (産業消防委員会所管分)

主な質疑

農業担い手支援に係る補助金の積算根拠, 多面的機能維持事業の取組状況, 畜産業費の増額要因, 地積調査費及び水田農業対策費の事業内容, 林業振興費における病虫害対策に要する費用, 中小企業振興支援事業の活用状況, M i t o r i O 周辺にぎわいづくり事業及び企業立地促進事業の内容, 観光費の減額要因, ナイトツーリズムの推進支援に要する事業費の積算根拠, インバウンドの充実に係る予算, 水上オートバイの効果的な活用, 自家用給油所整備事業のスケジュール, 消防団詰所の防犯対策など

主な意見

- (1)地産地消の取組に係る P R を推進し, 農産物のブランド化の確立に努められたい。
- (2)企業立地の促進は, 雇用, 税収, 消費などの分野に大きな影響を与えることから, 地域経済の活性化に向けた戦略的な取組を推進されたい。
- (3)日本遺産である弘道館などの資源を有効活用し, 全庁横断的にインバウンドの推進に努められたい。
- (4)消防車両等の消防機械について, 適切な時期に導入及び更新を行うとともに, 消防力の向上に資する適正な配置と運用に努められたい。

全会一致 賛成



リニューアル予定のまちなか案内板



弘道館で行われた武道演武

1 予算編成の基本方針(令和7年3月3日 本会議 市長提案理由説明から)

令和7年度予算については、「水戸市第7次総合計画—みと魁・Nextプラン—の着実な推進」と「水戸の未来を支える持続可能な財政基盤の確立」の2つの基本方針の下、編成を行いました。

特に、本市の最重要政策であるこども・子育て支援や教育については、選択と集中の考えの下、財源配分の重点化を一層推し進め、保護者ニーズの高い小学校給食費の無償化を実現するとともに、教育環境の改善に向けて学校施設の整備費を増額するなど、施策の更なる充実を図ることといたしました。

また、市民の生命と財産を守るため、備蓄物資・資機材の拡充や総合的な治水・雨水対策の推進など、防災・減災対策の強化を図るとともに、都市核の機能充実や企業誘致、中小企業の成長支援など、本市の経済発展に資する施策を引き続き積極的に展開することといたしました。



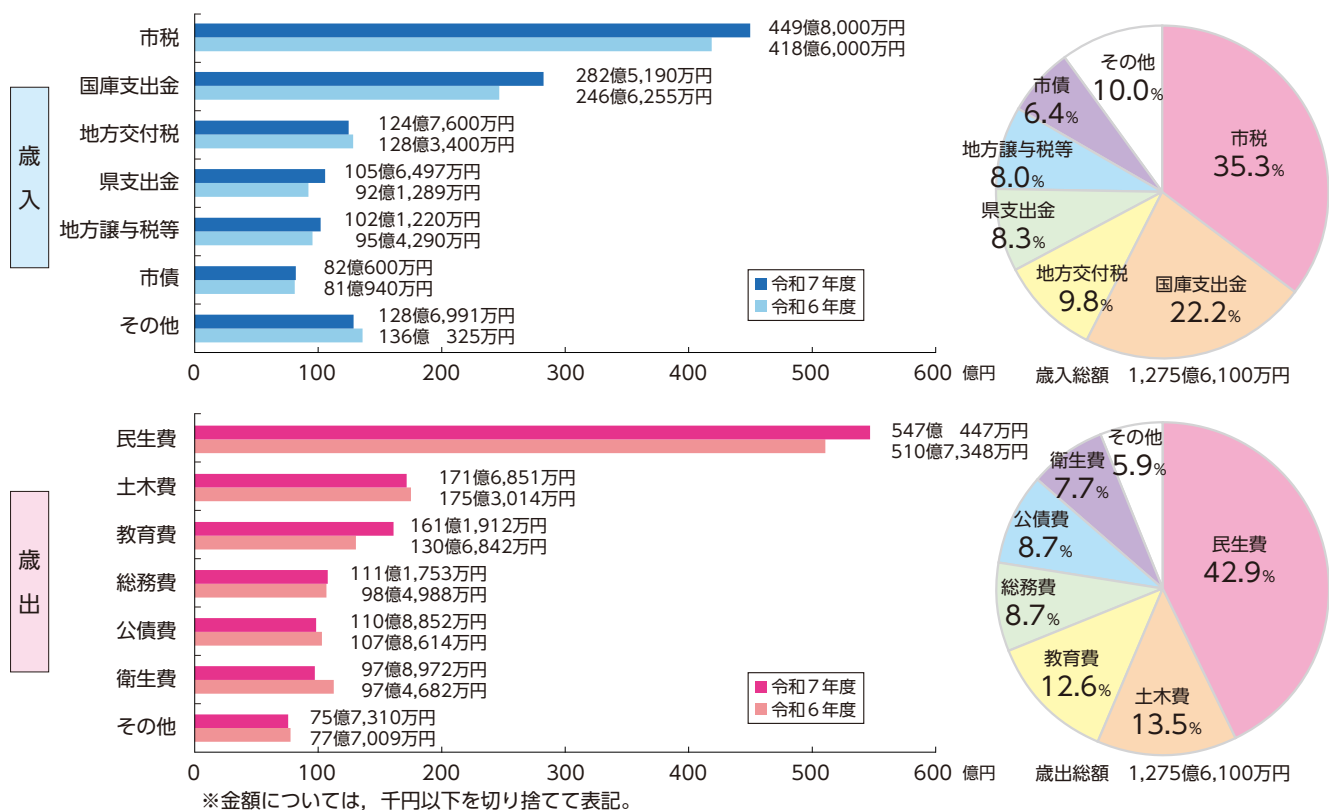
高橋市長

2 予算の規模等

(1) 予算の規模

区 分	令和7年度	令和6年度	増 減 額	増減率(%)
一般会計	1,275億6,100万円	1,198億2,500万円	77億3,600万円	6.5
特別会計	540億9,690万円	541億5,090万円	△ 5,400万円	△ 0.1
公営企業会計	316億7,230万円	308億4,640万円	8億2,590万円	2.7
計	2,133億3,020万円	2,048億2,230万円	85億790万円	4.2

(2) 令和7年度一般会計予算の状況



令和7年度の新規事業

企画総務部門

自治体情報システム標準化推進事業 7億7,797万円
ローコードツールの導入による業務プロセス最適化事業

437万円

※ローコードツール…最小限の専門知識で業務アプリやシステム
が作成できる業務DXのツール

出退勤管理システムの導入 560万円

常澄庁舎長寿命化改修事業 1,320万円



改修予定の常澄庁舎

市民協働部門

五軒市民センター改築事業 1億2,780万円

新たなハザードマップの作成 1,600万円

A I 防犯カメラ整備事業 940万円

戦後80年事業 1,136万円

男女平等参画の推進に向けた拠点機能の強化 100万円

アダストリアみとアリーナ観客席等改修事業

5億1,800万円

生活環境部門

浜見台霊園合葬式墓地の充実 640万円

堀斎場長寿命化改修事業 3,500万円

ごみ処理手数料改定に係る周知事業 340万円

旧清掃工場跡地の利活用の推進 3億5,550万円



旧小吹清掃工場

保健医療部門

医療機関開設等補助事業 3,000万円

帯状疱疹予防接種事業 6,254万円

こども部門

こどもの養育費受取支援 86万円

こどもの遊び場の充実 4,800万円

初回産科受診料支援事業 55万円

医療的ケア児保育支援事業 1,587万円

産業経済部門

Mitori O 周辺にぎわいづくり事業 300万円

ナイトツーリズムの推進 100万円

飼料用米生産継続支援金 2,000万円

都市建設部門

まちなか案内板 R e デザイン事業 300万円

消防部門

消防団第12分団改築事業 2,900万円

水上オートバイ整備事業 530万円

教育部門

小学校給食費の無償化 8億5,986万円

指導者用デジタル教科書の導入 2,425万円

水戸城土塁(法面)整備事業 6,000万円

教育用タブレット端末の更新 14億2,260万円

※金額は当初予算額を表す(千円以下を切り捨てて表記)。

令和7年度の市政運営の基本方針及び市の予算については、広報みと(令和7年4月1日号)の特集
もご覧ください。



議会日誌

1/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 全員協議会 議会報編集委員会	2/19	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 議会改革調査特別委員会 全員協議会	3/13	建設企業委員会
1/20	議会改革調査特別委員会	2/25	議会運営委員会	3/14	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
2/10	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会 公共交通体系調査特別委員会 行財政改革調査特別委員会 議会改革調査特別委員会	3/ 3	本会議	3/17	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会 建設企業委員会
		3/10	本会議	3/18	議会運営委員会
		3/11	本会議	3/19	議会運営委員会 全員協議会 本会議 議会報編集委員会
		3/12	本会議		
		3/13	総務環境委員会 文教福祉委員会 産業消防委員会		

議会中継等のご案内

インターネットでの本会議のライブ配信及び録画配信、常任委員会の録画配信を行っています。
常任委員会と特別委員会の会議記録も公開しています。ぜひご覧ください。



ライブ配信・録画配信



委員会会議記録

傍聴のご案内



本会議や委員会等の会議を傍聴いただけます。
ご希望の方は、下記を参考にお越しください。
なお、傍聴の流れを紹介する動画をHPに掲載しています。上記二次元コードからご覧ください。

	本 会 議	議会運営委員会、 常任委員会等	特別委員会等
定 員	104名 (うち車椅子利用の方は4名)	5名	10名
受 付 所	8階(傍聴席入口)	7階(議会事務局)	
手 続 き	・当日、先着順 ・傍聴券に住所、氏名を記入	・開議予定時刻の40分前～10分前までに受付 (定員を超えたときは抽選) ・委員会傍聴申請書に住所、氏名を記入	

6月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
6/1	2	3	4	5 本会議 (常任委員等改選)	6 本会議 (常任委員等改選)	7
8	9 本会議 (提案理由説明) 議案説明会	10	11	12	13	14
15	16 本会議 (代表質問)	17 本会議 (議案質疑) (一般質問)	18 本会議 (一般質問)	19 常任委員会	20 常任委員会	21
22	23 議会運営 委員会	24 議会運営 委員会 全員協議会 本会議 (議了)	25	26	27	28

※6月7、8、10～15、21～23日は議案調査

編集委員会

委員長 森 正慶
副委員長 鬼澤 真寿
委 員

池田 悠紀 大津 亮一 中庭由美子
細谷 智宏 打越美和子 マーサー川又
森 智世子 田尻由紀子 藤澤 康彦
高倉富士男

編集後記



水戸市マスコットキャラクター

「みとちゃん」

偕楽園の梅の花が見ごろを迎えた頃、3月定例会が開会されました。今議会では常任委員会を中心に令和7年度予算に関する様々な意見を交わし、活発な議論を行いました。私たち議員は、市民の皆様の代表としてより良い社会を目指し、生活に密接した重要な事案を論議しております。編集委員一同、これからも皆様に分かりやすく、そして興味を持っていただける議会情報をお届けできるよう努めてまいります。[細谷 智宏、鬼澤 真寿 記]